



あなたは
見えて
いますか!?

もしかして
緑内障
!?

早期発見、早期治療、治療の継続により、運転寿命を伸ばしましょう!

健康起因事故防止の

ための啓発動画はこちら!

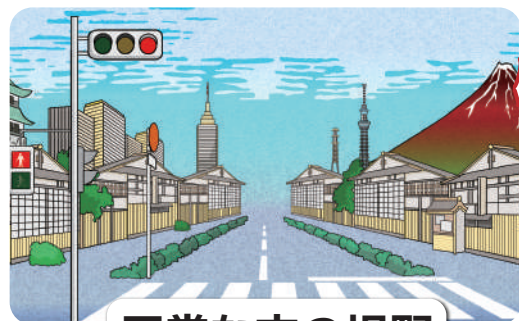


<https://www.iatss.or.jp/movie/>

緑内障に気付かないことで、事故の危険を高めることがあります。

緑内障の運転リスクとは

緑内障では下記のように視野（見えている範囲）が狭くなったり部分的に見えなくなるため、気づかずに運転を続けていると交通事故の原因になります。



正常な方の視野



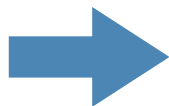
信号機が見えない！



緑内障の方の視野



歩行者が見えない！



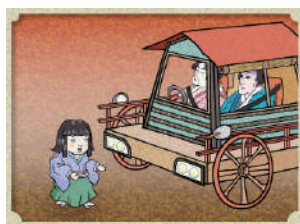
70歳以上は9人に1人

緑内障とは？

視神経が障害されることで視野が狭くなる病気です。緑内障患者は、40歳以上の20人に1人、70歳以上では9人に1人ともいられています。また、**緑内障は徐々に進行するため自覚症状がなく、多くの方が治療を受けていないといわれています。**

このような出来事はありませんか？

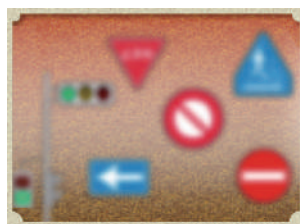
このような出来事を1つでも経験したことがある場合、眼科の受診を検討してください。



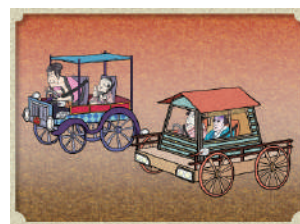
一 運転中、突然横から車が出てきたり、人が飛び出してきたことがある。



二 家族などの同乗者から危ない運転と指摘されたことがある。



三 信号や標識がわかりづらかったことがある。



四 周囲の車の流れにのれないことがある。



緑内障の治療法

点眼薬（目薬）や手術によって眼圧を下げることで、進行をゆっくりにする、あるいは、進行をくい止めることができます。